

12月定例会で審議した議案、請願の結果

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否				
		清流 9人	サン 3人	共産 3人	公明 2人	無会派 清野 金崎
専決 一般会計補正予算(第3回)	承認	○	○	○	○	○
市道 市道の路線変更	原案可決	○	○	○	○	○
市道の廃止	原案可決	○	○	○	○	○
条例 一般職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
市長等の給与及び旅費に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	×	○
市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	×	○
工事請負変更契約の締結	原案可決	○	○	○	○	○
市の議会の議員及び長の選挙における選挙運動用自動車の使用等の公営に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額等を定める条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
手数料徴収条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○
共同調理場条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	×
30年度補正予算 一般会計補正予算(第4回)	原案可決	○	○	○	×	○
国民健康保険特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
介護保険特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
下水道事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
戸別合併処理浄化槽事業特別会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○
市立病院事業会計補正予算(第2回)	原案可決	○	○	○	○	○

議案、請願の件名	議決結果	会派ごとの賛否				
		清流 9人	サン 3人	共産 3人	公明 2人	無会派 清野 金崎
一般会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	×	○	×
国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○
後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	×	○	○
介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	×	○	○
下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○
農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○
戸別合併処理浄化槽事業特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	○	○	○
公設地方卸売市場特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○
駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定	認定	○	○	○	○	○
市立病院事業会計決算の認定	認定	○	○	○	○	○
人事案件 人権擁護委員候補者の推薦(金田まさき氏)	同意	○	○	○	○	○
人権擁護委員候補者の推薦(福原隆夫氏)	同意	○	○	○	○	○
議員提出議案 認知症施策の推進を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
義援金差押禁止法の恒久化を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
被災者生活再建支援制度の拡充を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○
国民健康保険税における子どもの均等割廃止を求める意見書	否決	×	○	○	×	○

清流：清流クラブ サン：サンライズ秩父 共産：日本共産党秩父市議団
 公明：公明党 無会派：会派に属さない議員
 ※議長は人数に含まれていない。

○：賛成 ×：反対 ○/○：賛成人数/会派人数

一般質問

市政への質問

一般質問は、市政に関わる市の考えを聞いたり、議員が政策を提案したりするものです。各議員の質問項目は下記のとおりです(質問順に掲載)。

<p>① 小櫃 市郎(清流クラブ)</p> <p>1 地域活性化施策 2 伝統芸能・文化伝承施策</p>	<p>⑥ 上林 富夫(サンライズ秩父)</p> <p>1 セメント跡地の現状 2 予算編成 3 危機管理体制 4 姉妹都市職員派遣</p>	<p>⑪ 清野 和彦</p> <p>1 若者層の雇用促進に向けた施策 2 防災・減災の取組み 3 地域公共交通 4 協働を促進するファシリテーターの養成</p>
<p>② 浅海 忠(清流クラブ)</p> <p>1 公共交通網の維持整備の取組み 2 行財政改革の取組み 3 行政職員の働き方改革</p>	<p>⑦ 新井 重一郎(サンライズ秩父)</p> <p>1 地方移住の促進 2 環境、売電事業 3 教育環境と教育内容</p>	<p>⑫ 桜井 均(日本共産党秩父市議団)</p> <p>1 屋外運動場の常設トイレ 2 羊山公園テニスコートの整備 3 住宅リフォーム制度の見直し</p>
<p>③ 赤岩 秀文(清流クラブ)</p> <p>1 地方(秩父)創生地域活性化政策 2 産業・雇用政策 3 医療・健康・福祉政策 4 公共施設・まちづくり政策</p>	<p>⑧ 本橋 貢(公明党)</p> <p>1 学校でのいじめ問題 2 児童虐待防止 3 森林経営管理法案 4 森林環境譲与税</p>	<p>⑬ 山中 進(日本共産党秩父市議団)</p> <p>1 二次救急輪番体制についての今後 2 職員等の福利厚生と休暇制度 3 市発注事業における労務単価の追跡 4 地域振興</p>
<p>④ 土谷真一(清流クラブ)</p> <p>1 観光振興・おもてなし対策の現状 2 西武秩父駅周辺のまちづくり推進 3 英語・プログラミング教育への取組み 4 ICT活用の積極的な推進と環境整備</p>	<p>⑨ 出浦 章恵(日本共産党秩父市議団)</p> <p>1 平和事業の開催を 2 高すぎる国民健康保険税の負担軽減を 3 教職員の多忙化解消に向けた取組みは</p>	<p>⑭ 金崎 昌之</p> <p>1 地域医療体制の展望は 2 雇用対策の充実を 3 婚活支援の現状と今後は 4 特定不妊治療費助成の拡充を</p>
<p>⑤ 黒澤 秀之(清流クラブ)</p> <p>1 農林業振興施策 2 健康増進施策 3 広域行政改革 4 選挙の投票率向上</p>	<p>⑩ 大久保 進(公明党)</p> <p>1 地域公共交通 2 観光危機管理の充実</p>	

※市議会ホームページのインターネット録画中継で、一般質問の様子をご覧いただけます。

一般質問

清流クラブ政策提言より



清流クラブ 小櫃 市郎
おじま いちろう

●地域活性化施策

問 セメント跡地への企業誘致の進捗状況は。既存の企業に対する人材確保のための支援策の検討は。

答 セメント跡地の一部を活用して工場を立地する企業(株)オプナスが今後、2020年度の稼働に向け新工場を建設する。地方創生、地域活性化に大いに効果を期待する。引き続き道路等インフラ整備を着実に進める。企業誘致優遇策として、県内でもトップレベルの奨励金制度を有している。固定資産税額3年間助成、建物建設費5%助成する。緑地率の緩和も行っている。企業誘致に全力で取り組む。

問 花の木プロジェクト(モデル事業)の今後の展開は。

答 豊島区をはじめ、都市部のアクティブシニアを主な対象に「生涯活躍のまちをつくる会」を開催するなど、移住マーケティング的な視点を持って進めている。新電力会社と秩父版CCRCが連携している見守りサービスも検討している。

問 セーフコミュニティ推進事業の現状と今後は。

答 セーフコミュニティ認証は、世界基準としての安心安全のまちづくりの活動が国際的に認められるものであり、今後積極的な活動を推進していく。

●伝統芸能・文化伝承施策

問 伝統芸能、文化伝承について。

答 無形の民俗文化財の継承は、少子高齢化により年々困難な状況ではあるが、小中学校の授業やクラブ活動等を通じて、児童・生徒が地域の無形民俗文化財に触れる機会を設けている。



整備が進むセメント工場跡地

清流クラブ政策提言より



清流クラブ 浅海 忠
あさひみち ただし

問 秩父新電力株式会社の取組みと今後の経営方針は。

答 10月9日、小売電気事業者登録が認可された。安定した電源確保のため秩父広域市町村圏組合と協定を締結した。他の電源確保に向けて動いている。民間メガソーラーからは「エルゴサンジャパン」と交渉を行っている。他に環境価値の高い、固定価格買取制度終了後の電源を購入したい。

問 秩父広域4町との関係は。

答 現在は、4町からの出資は想定していない。4町が希望する施設に対し、市の公共施設と同時に供給したい。広域組合からは電気を購入したいとの回答があった。地域全体で低炭素化を目指し共通する地域課題に対応できるサービスの展開を想定している。

問 自主発電設備の検討は。

答 現時点では設備投資する計画は無いが小水力発電は環境面から大変優れた電源である事は事実である。地域で取り組んでいる方もいるので市も引き続き研究する。

問 国道140号大滝トンネル削削の現状と今後は。

答 トンネルへの取付道路の測量



平面化が計画されている
国道140号秩父陸橋

設計及びトンネル本体の設計業務委託を発注した。31年度用地交渉等に着手し、開通は10年以内を目指すとの事。県と協力を進める。

問 国道299号(仮称)長尾根トンネルの早期開削の取組みは。

答 県や国土交通省、埼玉県選出国会議員へ継続して要望活動を行っている。大滝トンネルの完成後でなく並行して整備を要望する。

問 国道140号陸橋の撤去は。

答 県で撤去の概略設計を発注している。31年度、平面化の詳細設計に進みたいとのこと。

一般質問

清流クラブ政策提言より



清流クラブ 赤岩 秀文
あかいわ ひろまさ

●医療・健康・福祉政策

問 夜間の救急医療を輪番で行う病院は現在3病院である、かつての6病院から減り続けている、今後の展望は。

答 現在の3病院体制での夜間輪番体制は過重な負担がかかっている。負担軽減を目的として定住自立圏構想のちちぶ医療協議会から、1600万円の財政支援をしている。また秩父広域市町村圏組合からも運営費を補助し、輪番体制を維持している。今後は県と協議し、積極的に関与してもらおう。

問 開業医の高齢化や後継ぎ不足による閉院が危惧される、また現在1院となっている産科も将来的には厳しい状況となることが予想されるが今後の展望は。

答 秩父地域の医師の平均年齢は60歳で後継ぎが居ても大学の医局等が離さないため帰郷が厳しい状態。産科についても将来的に厳しい状況、関係機関と協議をする。

問 医療人材が全国的に不足するなか秩父地域の中核病院である市立病院において適切な医療を提供するために必要な医療人材の確保についての対策は。



地域の中核病院である市立病院

答 人材確保を図るうえで処遇改善が効果的と考えている。30年度は医師の給与と研修費の増額を行った、今後は看護師の夜間医療等業務手当の改正を検討している。

問 耐震工事は完了しているものの老朽化の進む市立病院の建て替えについての検討は。

答 市立病院は昭和56年に南館、平成3年に本館を竣工した。現在建て替えや大規模改修が不可欠と考え、専門家に委託し病院基礎調査を実施している。

観光振興

おもてなし対策



清流クラブ 土谷 眞一
つちや しんいち

問 空き店舗の活用状況は。

答 中心市街地に秩父農工科学高校で行なっている空き店舗チャレンジ事業、農工チャレンジショップがある。血圧測定器を置くなどして高齢者も気軽に立ち寄ってもらえる環境を作っている。本町にある秩父ブランド館は現在4250人が利用。12月より改修工事を行い休息所としてさらに使

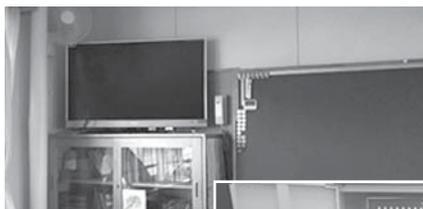
問 秩父の魅力をどのように発信しているのか。

答 秩父観光協会に秩父魅力発信事業を委託。最近では、AERAに広告を出稿。都内、西新宿及び日本橋のナチュラルローン内にある埼玉県物産観光協会が運営するアンテナショップで秩父市の特産品を販売している。

問 西武秩父駅周辺にオートバイ専用の駐輪場設置は。

答 オートバイを含めた駐輪場のあり方については、30年度から3か年かけて策定する秩父市都市計画マスタープランの中で駅周辺の整備と併せて検討する。

●英語プログラミング教育



大型モニター



タブレット端末保管庫

問 指導計画の現状は。

答 30年度A L Tを1人増員。外国語コーディネーター4人を小学校に配置。プログラミング教育については対応するソフトや教材が開発され導入に向けた準備が行なわれている。

問 ICT活用の推進と環境整備は。

答 各学校の教室に大型モニターテレビを配置。パソコン更新時にタブレット端末に移行している。

一般質問

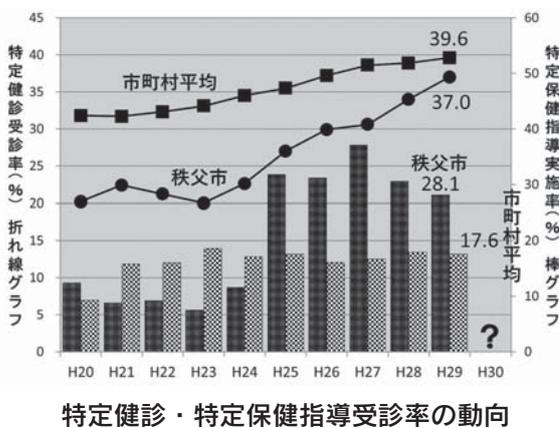
増え続ける医療費 市としての対応は



清流クラブ 黒澤 秀之
くろさわ ひでゆき

問 誰もが健康で長生きがしたい、そう思うのは人として当たり前のことである。健康で長生きするためには、食生活と適度な運動、そして早期発見、早期治療が必要となる。一方、昨今の医療費を見てみると、増加の一途を辿っている。現在、市として取り組んでいる特定健診・特定保健指導の受診率と、それらの向上策についての考えは。

答 特定健診は、メタボリックシンドロームに着目した生活習慣病予防のための健康診査であり、早期発見により重症化の抑制を図り、増え続ける医療費の適正化に結び付けることを目的としている。市の受診率は、24年度は22・6%と県内最下位であったが、年々上昇し29年度には、37%と県内48位となった。さらに受診率を向上させるため、未受診者を取り込むことが重要であり、集団検診の会場や日程を検討し、受診しやすい環境を整えていく。



特定保健指導は、特定健診結果に基づき、行われる保健指導で、対象者自身が自ら生活習慣を改善するための行動目標を設定し、実践できるように支援するものである。

- ◎ 農林業振興施策
- ◎ 防犯施策
- ◎ 選挙の投票率向上

姉妹都市職員派遣、 派遣費用、職員の安全保障等



サンライズ秩父 上林 富夫
かみばやし とみお

問 姉妹都市である韓国カンヌン市との職員交互派遣事業を市長が報道発表後、市民などからの抗議殺到により、休止となった事業の目的は何か。派遣費用、待遇、職員選出は公募か、指名か。

答 観光客誘致等が主目的である。派遣費用は旅費等約40万円、カンヌン市からの職員受け入れ費用が住宅関係約92万円、滞在費48万円、研修費等20万円など160万円で合計200万円を見込んでいた。派遣職員は公募による。

問 朝鮮半島は戦争が終結していない状況であり、カンヌン市は北朝鮮に近いが安全保障や地域性など勉強しているのか。慰安婦像があることなどから姉妹都市を解消する気はないのか。市長は慰安婦像があるのを知っていたのか。市への抗議件数は。

答 現地の安全保障については両市から情報提供を受けていないので計画段階では危険性は少なかつたと判断。今後の相互派遣については現在の日韓両国の国際情勢が続く限り、職員の身の安全保障等を考えると難しいと考える。姉妹都市を解消する気はない。カンヌン市に慰安婦像があることは知らなかった。カンヌン市からの観光客数は把握していない。市への抗議件数は335件である。

問 ふるさと納税の現状

問 29年度の納税寄付者の件数、ふるさと納税について偽サイト等のチェックはしているか。

答 29年度1927件、30年度10月末で1460件である。市の納税サイトに偽画面があることが分り警察に連絡するとともに画面等に注意を呼び掛けている。



カンヌン オリンピックパーク

一般質問

地方移住の促進に向けて



サンライズ秩父
新井重一郎

問 お試し居住の効果はどの程度か。

答 29年7月のオープン以来非常に高い人気で30年11月までに延べ48組132人が利用、秩父での暮らしを実感するのに欠かせない施設となっている。これにより、5世帯9人が市への移住を決めた。

問 サービス付き高齢者住宅の内容は。

答 日中はスタッフが常駐し毎日の安否確認や見守りを行う。隣接の交流施設では食事も提供するが、各部屋には独立したキッチンやバスルームがあり自炊も可能。基本的には高齢者が自活する木造2階建て共同住宅である。

問 空き家バンク登録数と利用希望者数は。

答 30年11月末までに秩父地域全体で88件(市内31件)の登録があり、利用登録者数は679人。空き家バンク成約数は28年度25件、29年度34件、30年度11月末15件。

●環境・売電事業

問 事業用太陽光パネル設置には山の斜面、土砂災害警戒区域等を除外し、また、発電終了後の撤去

費用を明確にした条例制定が必要。

答 10kW以上の太陽光発電パネル設置に関して「秩父市太陽光発電事業の適正実施に関するガイドライン」により事業者に適正設置をお願いしている。

●教育内容

問 市内全国学力テストの結果と29年度との比較は。

答 30年度、小・中学校とも、県平均、全国平均以下であった。

平成30年度、29年度の全国学力テストの結果

<小学校>	平成30年度			平成29年度		
	秩父市	埼玉県	全国	秩父市	埼玉県	全国
国語A	68	71	70.7	75	75	74.8
国語B	53	54	54.7	59	57	57.5
算数A	59	62	63.5	77	76	78.6
算数B	46	50	51.5	44	45	45.9

<中学校>	平成30年度			平成29年度		
	秩父市	埼玉県	全国	秩父市	埼玉県	全国
国語A	73	75	76.1	73	76	77.4
国語B	58	61	61.2	68	72	72.2
数学A	60	65	66.1	59	63	64.6
数学B	42	47	46.9	45	48	48.1

学校でのいじめ問題



公明党 本橋 貢

問 学校でのいじめ問題の調査結果と、いじめ防止対策は。

答 認知件数は、小学校が9校で44件、中学校が7校で42件と年々増加傾向である。アンケートや聞き取り、観察を丁寧に行い、把握に務めた。解消件数は小学校35件、中学校37件となる。最近の傾向は、SNS、ラインやツイッター等の誹謗中傷が増加している。担任一人だけでなく、学校全体で取り組み、定期的なアンケート調査を行い児童生徒が主体のいじめ撲滅宣言やいじめ撲滅運動・警察と連携したスマホ教室を実施し、いじめ問題の解決に取り組む。

●児童虐待防止

問 児童虐待の件数と具体的な事例・児童虐待防止の取組みは。

答 児童虐待の相談受付件数は、ここ数年急激な増加傾向である。29年度は、身体的虐待が14件、心理的虐待が56件、ネグレクトが14件、性的虐待や生命に関わる重篤な事例はない。虐待の通報や相談があれば48時間以内に児童の安全確認を行う。関係機関が連携して、情報共有を図り、地域での見守り

や訪問活動等を行い児童虐待防止に取り組む。

●森林経営管理法

問 森林経営管理の取組みは。

答 31年4月から施行される法律で、秩父地域1市4町共同でどのように、私有林の境界確認、森林整備を進めるか検討し、円滑に進めるため準備を始める。この、法案の運用には、森林環境譲与税だけでは不十分なため、国、県に対して、既存事業の維持拡充の要望をする。



整備された森林



秩父市いじめ防止基本方針

◎森林環境譲与税

一般質問

国保の子育て世帯への負担軽減を 全国知事会が示した規模と水準

日本共産党秩父市議員 出浦 章恵



いわた あき恵

問 国民の4人に1人が加入しているのが国民健康保険。中小企業が加入する協会けんぽの1・3倍。加入者の貧困化が進み一番高い保険料で国保税の滞納者は289万世帯で危機的状況に陥っている。全国知事会が示した規模と水準についての見解は。

答 療分1万5000円と後期支援分85000円を合わせた1万9900円を全額免除とした場合の減免額は2413万円になる。18歳以下で第2子以降は529人で、1005万1千円になる。18歳以下で第3子以降は144人で、273万6千円になる。

問 せめて第3子以降の均等割免除を早い時期にできないか。
答 検討しなければならない。

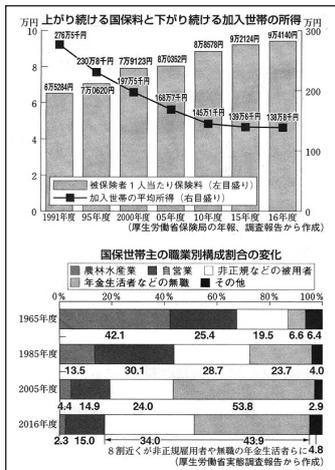
問 26年7月に負担水準を協会けんぽ並みに引き下げるために1兆円規模の公費投入が必要とし国に対し財政支援を要望している。当市も国保財政は厳しいが国や県の動向を見て、保険税率の改正を含め国保財政を検討する。

問 市民の負担を重くする原因である国保税の平等割を廃止する考えはあるか。
答 はじめに資産割の廃止に向けて今後適正に改正を進めていく。

問 均等割は世帯人数によって負担が増えるため、子育て支援に逆行している。県内でも免除する自治体が拡がり、近隣では皆野町、小鹿野町が31年4月から第3子以降の免除を決めた。市でもできないか。また試算結果はどうか。

答 18歳以下の被保険者は11月末現在1270人で均等割の医

療分1万5000円と後期支援分85000円を合わせた1万9900円を全額免除とした場合の減免額は2413万円になる。18歳以下で第2子以降は529人で、1005万1千円になる。18歳以下で第3子以降は144人で、273万6千円になる。



◎教職員の多忙化解消

地域公共交通

公明党 大久保 進



おおくぼ ますひろ

問 全国的に公共交通空白地帯解消のための方策としてデマンド交通を導入しているが、市も高齢化・過疎化に向かっている。デマンド交通導入についての考えは。

答 首都圏において大規模災害が発生した場合でも、帰宅困難者対策として、安全確保の方法、災害の状況、今後の見通し、避難情報等の正確かつ迅速な情報提供をその責務を負っている。現在市のホームページで、英語・中国語・韓国語・フランス語・ドイツ語・イタリア語・スペイン語・ポルトガル語の8か国語で閲覧が可能となっている。このように情報提供の充実を図っていきたくと考えている。

問 現在の市の公共交通は、二つの鉄道路線とまちなかの駅を中心、バス路線が放射線状に展開し、その他市営バスやタクシーが運行するという状態である。市としては、現状の鉄道を含めた公共交通を維持確保することを柱に、利用促進を目的とした補助金、市営バスや乗り合いタクシーの運行委託費を支出している。全国的に見ても、鉄道やバス事業者の撤退や路線の廃止に伴う公共交通の確保の手段として、バスやタクシーを用いた「デマンド交通」が最も有効なものであると認識している。反面、初期導入費用や維持管理費が高額であるにも拘わらず、収益率が低い。現在行っている補助事業との関係性や費用対効果などを含め導入には慎重に議論する必要があると考える。

観光危機管理の充実

災害情報の多言語化の必要性



秩父市営バス

一般質問

若年層の雇用促進に向けた施策



きよの かずひこ
清野 和彦

問 地域の雇用環境と経済を支える事業者の新規雇用に取り組む姿勢を応援するために市として新規雇用奨励金制度を考えられないか。

答 ハローワークに「トライアル雇用助成金」や「特定求職者雇用開発助成金」といった助成制度があり積極的にPRしていきたい。

問 若年層の雇用促進と移住定住促進とを密接に関連させ年齢幅や業種等を限定し対象者に民間賃貸住宅の家賃助成を実施できないか。

答 雇用促進に向けた家賃補助等、秩父に移住してきた若年層の支援について関係機関と連携を強化しながら前向きに検討したい。

●地域公共交通

問 32年度を目前に策定する意向が示された地域公共交通網形成計画と現在策定中の居住機能や医療・福祉・商業・公共交通等の都市機能の誘導により都市全域を見渡す立地適正化計画との整合性は。

答 地域公共交通網形成計画と立地適正化計画とは連携を図ることが求められているので併せて策定する予定。地域公共交通会議の構成員を中心に協議会を立ち上げ、

現在の公共交通の維持を第一に考え、デマンド交通の可能性も含め議論いただきたいと考えている。



将来にむけた地域公共交通の検討は喫緊の課題

- ◎ スファイア基準に準じた避難所の質の向上
- ◎ 第一小学校体育館の避難所開設
- ◎ 学校を巻き込んだ地域防災訓練
- ◎ 非常時における上下水道の断水対策
- ◎ 疎開保険・非常時における都市住民の一時避難受け入れ
- ◎ 協働を促進するファシリテーターの養成

市民からの要求を市政に



さくらい ひとし
日本共産党秩父市議団 桜井 均

定していない。

●屋外運動場

問 荒川総合運動公園、影森グラウンドに常設しているトイレの清掃管理や破損、故障の対応はどの様になっているのか、また洋式化の検討はしているのか。

答 定期的な清掃業務を業者に委託しており、故障や破損等不具合が発生した場合は管理人を通しての報告又は利用者から直接連絡を受けるようにしている。また、洋式化については荒川総合運動公園管理棟のトイレ、影森グラウンドの常設トイレは改修を12月より進める。

問 羊山テニスコートの整備や管理方法はどの様に行っているのか。

答 利用する団体の責任において、清掃を含めた管理をお願いしており、整備についても、程度が簡易の場合は利用する団体に原材料を渡し補修を実施している。

問 羊山テニスコートの人工芝は開設以来、全面張替えを行ったことがないとのことだが、破損等が見受けられる。市として張替えを検討されているのか。

答 状態が一部悪いところは認識をしているが、現状では改修は予



洋式化となる影森グラウンドのトイレ



整備が望まれる羊山テニスコート

- ◎ 住宅リフォーム等資金助成金交付制度の利用回数の見直し
- ◎ 住宅リフォーム等資金助成金交付制度の申請期間の変更

一般質問

市民にやさしい街づくり



日本共産党秩父市議員 **山中 進**
やまなか すずむ

●二次救急輪番体制についての今後

問 医師数がOECD（経済協力開発機構）加盟国の平均よりも11万人も少ない日本の現状であり、埼玉県医師数も下位に位置している。国は、診療報酬の抜本的な対応が必要だ。市として、医療の安全・質の向上、医療従事者の労働条件改善、産科・小児科・救急医療の充実などが求められる。それには医師などスタッフの確保に加え、処遇改善も視野に入れた取り組みが求められる。市立病院は、地域医療の拠点・中核として、対応していく必要がある。二次救急輪番体制の維持について、1年後とはいえ、差し迫っている、深刻に受け止めなければならぬ。将来設計も含めどのような対策を考えているか。

係大病院には医師派遣を要請するなど地域中核病院としての責務を果たしたい。

答 救急輪番病院として内科、外科、小児科の医師、看護師や放射線・臨床検査技師で救急患者にあたっている。二次救急輪番体制の維持をはかるため県の支援の要請をはじめ、医師会、消防署、自治体、地域医療連携推進運営委員会、ちちぶ医療協議会などで検討し、関



市立病院全景

- ◎職員等の福利厚生と休暇制度
- ◎市発注事業における労務単価の追跡
- ◎全国ペタンク大会

地域医療体制の展望は



かなざき まさゆき **金崎 昌之**

問 「退化している」と言われる地域医療の中で、心疾患や脳卒中などの患者の多くが秩父の外へ搬送されているという状況を踏まえると、地域内での医療連携にも一定の限界があると考える。医療連携の強化の一方、地域で完結できる医療を郡市一丸となつて国や県に働きかける考えは。

ている。また、服装や話し方を学ぶ「恋活スキルアップ講座」も効果的で、これらに取り組み中で参加者を増やしたい。

●特定不妊治療費助成の拡充を

問 皆野町では、高額となる体外受精等の特定不妊治療に対して補助額を充実して、出生率向上等に結びつく成果を出している。市として拡充する考えは。

答 地域医療は後退していない。地域完結型医療は古い考え方であり、不可能。

答 枠内予算方式や実績状況からして、難しい。

●雇用対策の充実を

問 人手不足が叫ばれながらも、若い人たちが職を求めて地域外へと出て行かざるを得ない現実がある。「秩父に住んで働ける」ために、他市で取り組む通勤者に向けた特急券補助や、皆野寄居有料道路料金補助などの考えは。

答 賃貸住宅家賃補助で考えたい。

●婚活支援の現状と今後は

問 少子・人口減対策やまちおこし対策として、出会いの場を提供する婚活支援の現状と今後は。

答 30年度から、市が企画する「恋活イベント」を展開し、成果が出

秩父消防署管外搬送件数

平成	管外搬送件数	年間総救急件数
26年	565	4,880
27年	565	4,667
28年	669	4,504
29年	714	4,674

増加傾向にある管外搬送件数